

(第3回) 国分寺市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 次第

日時：令和2年2月20日（木）

午後5時00分～

会場：市長応接室

- 1 事務局より現状について
- 2 各部の対応状況について
- 3 本部長指示及び対応方針について
- 4 その他

資料

新型コロナウイルスに関連した肺炎について（健康推進課）

市民等からの問い合わせに対する対応について

手洗い・咳エチケット等のポスター

都庁における新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルスに関連した肺炎について

令和2年2月20日健康推進課

1 海外・国内の状況

(2月14日以降の状況)

- 国内外の発生状況(2月19日厚生労働省報道発表資料)

中国 感染者数 74,185 人, 死亡者数 2,004 人

日本 感染者数 59 人, 死亡者数 1 人(※2月3日に横浜港に寄港したクルーズ船の感染者数含まず。)

クルーズ船の発生状況: 延べ 1,723 名の検査中 454 名が陽性

- 東京都の患者数 25 人(2月19日東京都報道発表資料)

2 国分寺市の対応状況

- 1月27日に市長, 副市長, 危機管理監, 政策部長, 健康部長で協議し, 現時点では情報収集と庁内及び関係機関と連携して対応することを確認
- 1月28日, 市長, 副市長, 危機管理監, 健康部長, 総務部長で協議を実施し, 市対策本部設置までは, 同メンバーで随時協議を実施し, 健康部長から各部長への情報提供を行うことを確認
- 1月29日, 市ホームページに新型コロナウイルスに関連した肺炎に関するページを作成
- 1月29日より市民と直接接する窓口対応職員のマスク着用を開始。健康推進課より各部へ 1,000 枚のマスクを配布(子ども家庭部は保育園対応のため 2,000 枚)
- 1月31日より第一庁舎1階(市民課窓口)及び第二庁舎1階(健康推進課・高齢福祉課窓口)の2ヶ所で市民へのマスクの配布を開始
- 1月31日より庁舎や市の各施設の入口に乾性手指消毒剤(ヒビスコール)を設置。ヒビスコールについては, 契約管財課及びいずみプラザ健康推進課窓口で各施設担当者へ配布
- 1月31日, 危機管理監より職員向けに感染症予防の対応や不要不急の旅行等の自粛について掲示板通知
- 2月2日, 国分寺市生活安全・安心メールにより新型コロナウイルス関連する情報を市民周知

- 2月3日，健康推進課ツイッターにより新型コロナウイルス関連する情報を市民周知
- 2月4日，第1回国分寺市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催（2月3日対策本部要綱設置）
- 2月6日，庁内イントラに第1回対策本部会議の決定及び指示事項を掲示
- 2月7日，庁内イントラに感染症対策に関する指定管理者等への対応依頼を掲示（契約管財課）
- 2月7日，市ホームページ更新（厚生労働省電話相談窓口の変更案内追加，東京都の「帰国者・接触者電話相談センター」案内追加）
- 2月12日，市ホームページ更新（外国人向け案内追加）

以下，第2回対策本部会議開催以降を追記

- 2月14日，第2回国分寺市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催
- 2月17日，感染拡大を受け，市長，副市長，政策部長，総務部長，健康部長で協議を行った。現時点の状況確認と庁内で連携して対応することを確認
- 2月18日，庁内イントラに第2回対策本部会議の決定及び指示事項を掲示
- 2月18日，職員課より職員向けに感染症対策の徹底について庁内イントラに掲示
- 2月18日，トイレや給湯室等への感染症対策のポスター掲示について庁内イントラに掲示

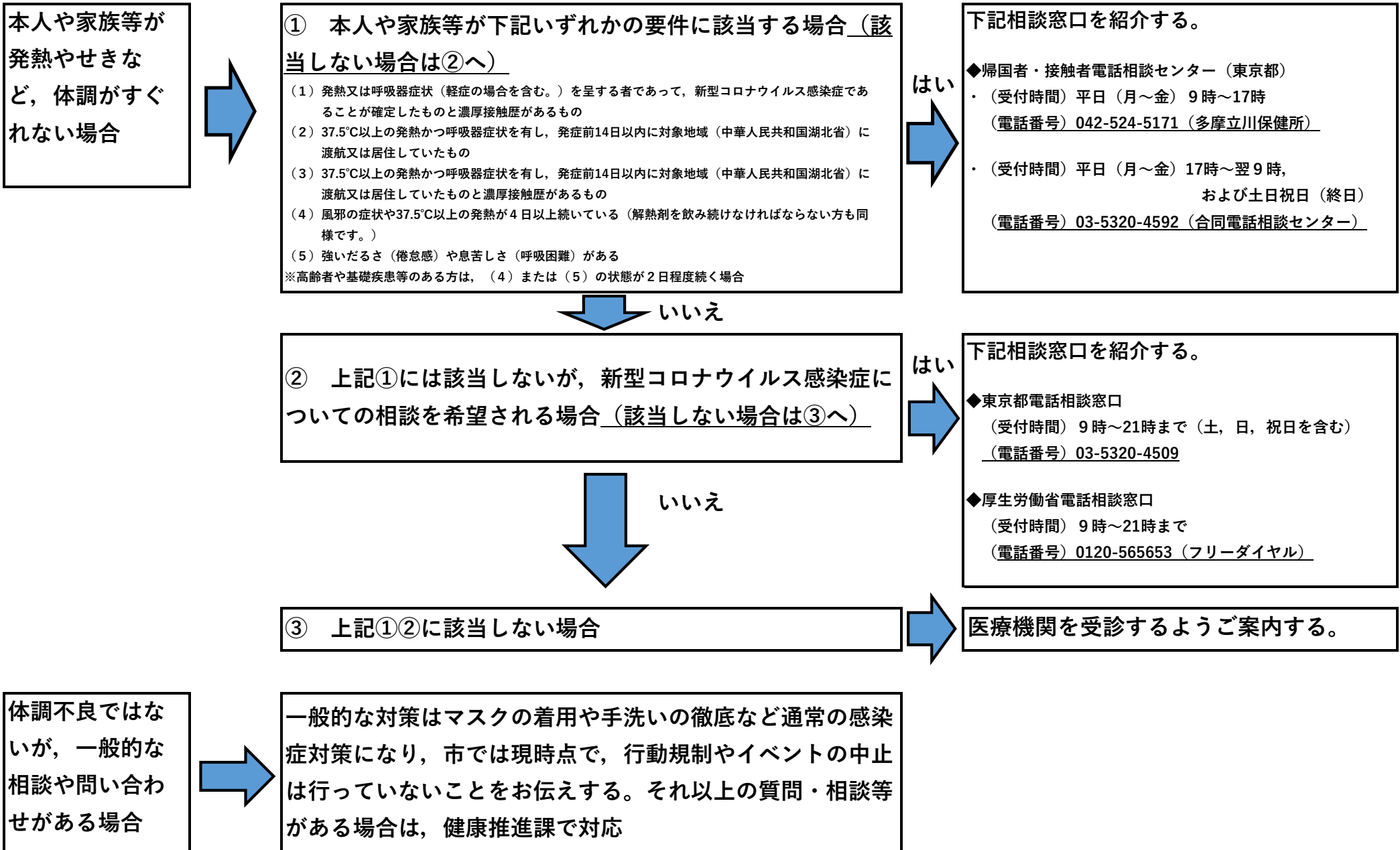
3 健康推進課の感染症関連物品の在庫状況（令和2年2月19日現在）

	サージカルマスク	速乾性手指消毒剤 (ヒビスコール)
令和元年12月末	100,000枚	1,058本
2月3日まで配布	15,000枚	192本
2月4日～12日まで配布	0枚	26本
2月13日～19日まで配布	400枚	0本
2月19日時点在庫	84,600枚	840本

- サージカルマスクについては，職員が2か月使用する分で6万枚を試算し，備蓄
- 乾性手指消毒剤（ヒビスコール）を令和元年度内に追加で1,000本購入予定（1月31日予備費充用）
- その他，感染拡大時に関係機関と連携して使用する，防護服，ゴーグル，N95マスクの在庫有

新型コロナウイルス感染症に関する市民等からの問い合わせに対する対応について

R2.2.19健康推進課



新型コロナウイルスを防ぐには

新型コロナウイルス感染症とは

ウイルス性の風邪の一種です。発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多いことが特徴です。感染から発症までの潜伏期間は1日から12.5日（多くは5日から6日）といわれています。

新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染によりうつるといわれています。

飛沫感染	感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。
接触感染	感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意しましょう。特にご高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性が考えられます。

日常生活で気を付けること

まずは手洗いが大切です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。

咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方に病気をうつす可能性がありますので、咳エチケットを行ってください。

持病がある方、ご高齢の方は、できるだけ人混みの多い場所を避けるなど、より一層注意してください。

発熱等の風邪の症状が見られるときは、学校や会社を休んでください。

発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録してください。

こんな方はご注意ください

次の症状がある方は「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている
(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます)

強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある

※ 高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

センターでご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。

マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

「帰国者・接触者相談センター」はすべての都道府県で設置しています。

詳しくは以下のURLまたはQRコードからご覧いただけます。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyasessyokusya.html



一般的なお問い合わせなどはこちら

その他、ご自身の症状に不安がある場合など、一般的なお問い合わせについては、次の窓口にご相談ください。

厚生労働省相談窓口 電話番号 0120-565653 (フリーダイヤル)

受付時間 9:00~21:00 (土日・祝日も実施)

聴覚に障害のある方をはじめ、電話でのご相談が難しい方 FAX 03-3595-2756

<都道府県の連絡欄>

新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安

1. 相談・受診の前に心がけていただきたいこと

- 発熱等の風邪症状が見られるときは、学校や会社を休み外出を控える。
- 発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録しておく。

2. 帰国者・接触者相談センターに御相談いただく目安

- 以下のいずれかに該当する方は、帰国者・接触者相談センターに御相談ください。
 - ・ 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く方（解熱剤を飲み続けなければならない方も同様です。）
 - ・ 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある方
- なお、以下のような方は重症化しやすいため、この状態が2日程度続く場合には、帰国者・接触者相談センターに御相談ください。
 - ・ 高齢者
 - ・ 糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）の基礎疾患がある方や透析を受けている方
 - ・ 免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

（妊婦の方へ）

妊婦の方については、念のため、重症化しやすい方と同様に、早めに帰国者・接触者相談センターに御相談ください。

（お子様をお持ちの方へ）

小児については、現時点で重症化しやすいとの報告はなく、新型コロナウイルス感染症については、目安どおりの対応をお願いします。

- なお、現時点では新型コロナウイルス感染症以外の病気の方が圧倒的に多い状況であり、インフルエンザ等の心配があるときには、通常と同様に、かかりつけ医等に御相談ください。

3. 相談後、医療機関にかかるときのお願い

- 帰国者・接触者相談センターから受診を勧められた医療機関を受診してください。複数の医療機関を受診することはお控えください。
- 医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケット（咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえる）の徹底をお願いします。

感染症対策へのご協力をおねがいします

！手洗い

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット^{せき}」です。

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。

外出先からの帰宅時や**調理の前後**、**食事前**などこまめに手を洗います。

正しい手の洗い方

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう

1



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのぼすようにこすります。

3



指先・爪の間を念入りにこすります。

4



指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗いします。

6



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

首相官邸
Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省

検索





感染症対策 へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう

1



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのぼすようにこすります。

3



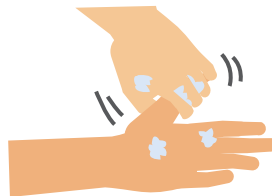
指先・爪の間を念入りにこすります。

4



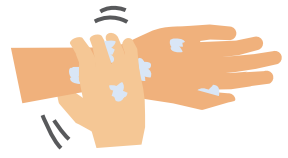
指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗います。

6



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

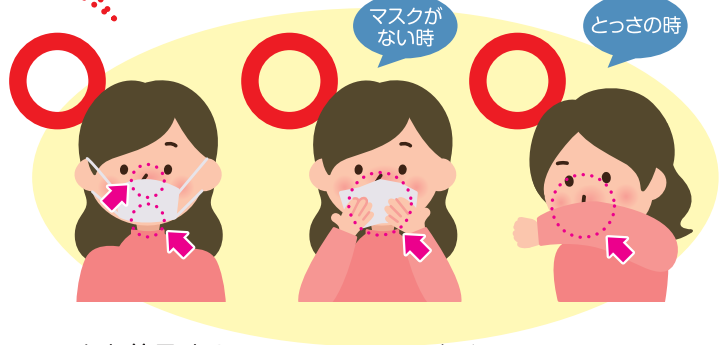
3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



何もせずに咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを手でおさえる



マスクがない時

とっさの時

マスクを着用する(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を確実に覆う



2 ゴムひもを耳にかける



3 隙間がないよう鼻まで覆う

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省

検索



都庁における新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染の拡大を防ぐため、都職員において以下の取組を実施

1 スムーズビズの一環として、本庁職員の全員がテレワーク 又はオフピーク通勤を実施 ～東京2020大会時の取組を可能な限り前倒し～

- 窓口業務への対応職員等を除く全ての本庁職員が対象
- オフピーク通勤については、時差勤務やフレックスタイム制等を活用し、早出・遅出（8：30～9：30以外の始業）の設定により、混雑時の移動を回避

2 出張・会議の抑制

- 必要性等を再精査し、出張の回数・人数を抑制
- 都が主催する会議について、可能なものは延期、テレビ会議の活用等について検討

3 感染予防対策の徹底

- 知事から職員の健康管理に関するメッセージを発信
- 庁内放送等を通じ、出勤・出張帰庁時の手洗いやうがいの徹底を呼びかけ
- 所属長は日常的に職員の健康状況を注視するとともに、職員間でも互いに注意（無理な出勤はしない）
- 窓口対応の職員のマスク着用とともに、アルコール消毒液を入口に常備